

PR

もう中学生が聞く

やさしい世界のためのおクエスト

もう中学生さんが「世界にやさしい」とウワサの企業や経営者を訪ねてインタビューするこの企画。
今回は、精密部品加工メーカーの

飯田精機株式会社・近藤英二社長にお話をうかがいました。

Q

農家にやさしい商品を開発したと聞きました



ラジコン式の農薬散布機「小次郎」を開発しました

通常の農薬散布機は農薬を避けるためにカップを着て、ゴーグルなどの装備が必要になります。熱中症のリスクに加え横転事故が多い。小次郎はそうした事故を減らし、農家の負担を軽減します。

Q

人にやさしい企業であるためにしていることは？



来て楽しい会社づくりと発言しやすい雰囲気づくりを

人にやさしい企業でないと、いいものは作れません。まずは来なくなる会社にする。そして積極的に発言できる雰囲気をつくる。こと開発は失敗の繰り返し。安心して挑戦するように伝えています。

Q

地元にもやさしくしてありますか？



次世代に残ってもらうために「働きたい」と思える会社

地域の子どもたちに「働きたい」と思ってもらえる会社でありたいと思っています。高校生や中学生をインターシップなどで職場に迎え入れてきましたが、小学生にも対象を広げるつもりです。



インタビューフルバージョンは
信濃毎日新聞デジタルで！



おアナーイなんだのは

飯田精機株式会社
代表取締役社長 **近藤 英二さん**

〔住所〕 下伊那郡喬木村7607-1
〔業種〕 精密機械部品 機械加工・
ソフトウェア開発・スマート農機開発

